

水と森の関係

横浜市立篠原中学校

二年 水野 カンナ

水は森と共に生きている。雨水が森林を通過して土壌に溶け込み、土が汚れを取り除いて、水をきれいにする。また、森が水を蓄えることで、川が溢れにくくなり、洪水や土砂崩れを防ぐ役割もある。このように、森は水と深く関わりがある。

小学二年生の頃、家族で山へ遊びに行った。山に入ってから数分経ったのだろうか。近くに湧水を見つけた。湧水は飲めると噂を聞いた私は、興味本位で湧水を飲んだ。溢れ出ている場所から両手を広げると、透き通った水が音を立てて私の手へと落下した。湧水は家の水よりひんやりしていて、とても美味しかった。今まで家などでしか水を飲む場所がなかったことから、私は秘密の場所のようで、その後も何度も飲んだ。その時は嬉しさのあまり、

どうして汚れがなかったのか、疑問には思わなかったが、ふと思いつくと、疑問が溢れかえった。調べてみると、森に降った雨が腐葉土に染み込んでいき、土の隙間を通過することで汚れが取り除かれ、長い年月をかけて、汚れないきれいな水が出来上がるそうだった。

では、どうして森は水を蓄えることが出来るのか。実は、草木の根が土を持ち上げたり、土の中にいたミミズなどの小さな生物が動き回るため、森の土はスポンジのようにたくさん穴が空いていて、たくさん水を蓄えることが出来る。つまり、森の土に水をきれいにすることだけではなく、水を蓄えるという重要な役割もあるのだ。

しかし今、大切な水と深く関わりのある森が世界で一分間に東京ドーム二つ分消えているそうだった。伐採されその後、木材として家具や燃料にも使われている。

私達は大切な水よりも、世界の進歩を優先してきてしまったのかもしれない。しかし、このような状況が続いていくと、環境が乱れ、いつかは私達の大切なものが消えてしまう可能性がある。森林伐採によって採れた木材は様々なものに使われている。それは私達にとって必要

不可欠なものもある。だから森林伐採を止めるといふことは簡単にはできない。しかし、伐採した場所から木を植えて育てるといふことはできる。そうすることで、大切な水は蓄えられ、洪水や土砂崩れの心配も防ぐことができる。一人一人の行動がひいては環境美化につながる。環境や水を守るためにも私は森を大切にしたい。